

ネットワークボード

ぱれっとと長年つながりがあり、タイのスタディツアーやモンゴルに車いすを送るなどの支援を続けているNPO法人『ニンジン』。ホームページの設立趣旨には『どこに生まれようと排除されることなく、一人ひとりの生命が大切に育まれる社会、個の実現が可能な社会をめざすには、それぞれ自分の身の回りの人々と問題の解決に努力していかなければなりません』とあります。この『ニンジン』が今年もモンゴル支援のためのチャリティコンサートを開催します。一人でも多くの方にご参加いただきたくご紹介します。「同時に2つの音で歌うホーミー。『スーホの白い馬』で紹介されている馬頭琴(ばとうきん)、そしてモンゴル琴、ヨーチンが奏でるモンゴルの伝統音楽が大草原に響きます。」皆様お誘いあわせの上、ぜひお出かけください。(編集部)

モンゴルの障がい児を支援するための
チャリティコンサート



2017年6月10日(土)

19:00開演(18:30開場)

会場:ルーテル市ヶ谷センター

料金:前売券 2,500円 当日券 3,000円

【お問い合わせ】特定非営利活動法人ニンジン

TEL.03-3553-7056

E-mail info@ninjin-npo.org

Web:http://www.ninjin-npo.org/

こんにちは 理事長です



絵:河合真理

おかし屋ぱれっと・ぱれっと事務局が移転し新年度を迎えました。年間1500万円の家賃支出が解消され、年間約400万円の借入返済に縮小されたことで、法人経営の土台安定につながりました。しぶや・ぱれっとホームもようやく軌道に乗り、入居者の方たちも生活に慣れてきたところです。しかし、グループホームユニット増設により、スタッフの疲弊が続いています。新人スタッフが宿直に慣れていないせいもありますが、大きな要因は人手不足です。福祉人材確保が厳しい中、スタッフの健康面に気を配りながら引き続き募集をかけているところです。求人の方の勤務条件整備も急務となっています。

おかし屋ぱれっと・工房ぱれっとはスタッフも充実し、通所員も定員に達し売上も好調で安定してきています。新メンバーも入り、先輩後輩の関係がより明確になり、仕事意識を高め合う姿勢が自然と生まれています。工房ぱれっとの製品も注目度が上がっており、通所員は残業続きですが、充実した様子で製作に取り組んでいます。9月にはマレーシア出張があります。昨年に引き続き、Syiook Wasabiとのコラボレーション企画です。

認定NPO法人ぱれっと 理事長

相馬宏昭